

文章理解過程と要約文に見られる学習者の文化的背景と読解方略の影響

中村かおり（拓殖大学） 近藤裕子（山梨学院大学） 向井留実子（元東京大学）

1 本発表の目的

よりよい読解授業の設計のために非母語話者の文章理解、要約文作成に影響している先行知識を明らかにする

2 調査の概要

調査対象：日本国内の大学院で学ぶ留学生3名（ルーマニア〈R〉、ベトナム〈V〉、中国〈C〉）
 使用文章：約1200字のエッセイ、約4000字の論文
 調査方法：エッセイは2019年6月、論文は同年8月に実施
 ①発話思考法による理解過程の発話 → ②400字程度の要約文の作成 → ③インタビュー（文章理解の根拠や要約文の意図確認）

中村他（2019）・向井他（2019）・中村他（2020）を参照

3 調査の結果分析

表1 発話思考法の発話、作成された要約文から観察されること

	文章理解過程		要約文	
	エッセイ	論文	エッセイ	論文
R	逐語理解、文間の関係や、文と段落や全体構成との関係も考えながら読む	見出しを手がかりに理解	自分の意見文に書き換え	最初に文章の目的を一文にまとめた上で、内容を要約し、最後に自分の意見を加える
V	タイトルやキーワードでポイントを理解、筆者の主張とその根拠と思われる箇所以外は読み飛ばす	構成に注目し、見出しを手がかりに内容を予測しながら理解	飛躍を削除して、矛盾なく要約	構成をもとに中心的な文を抜き出し、本文の順序に沿ってまとめる
C	筆者の主張に対して共感しながら読む、漢字を中心的な手がかりとする	まとまりごとに身近な事例と重ねて共感しながら読む、構成や見出しを手がかりに理解	矛盾・飛躍を残したまま主張を要約	本文の順序にとらわれずに包括的に要約

表2 インタビューでの発言等

R	日本語は主語と述語を確認してから、後ろから読んでいく	L2（英語・日本語）で論文の定型について指導を受けた経験があり、日常的にも多くの論文を読んでインプットがある	自分の意見や主張を第一に考えて要約する
V	選択式のJLPTの問題の対策のための読み方（大意を取る。詳細は飛ばす。接続詞や主張や理由を表すキー表現にし、細部は読み飛ばす）		文章の構成と中心文を意識して短時間でまとめる。全部読む必要ない
C	漢字を手がかりに読む		筆者の主張に寄り添って要約する

L1の読解方略が活性化されず、L2で得た読解方略に過度に依存している

L2読解経験・試験形式が影響

論文の定型を手がかりに理解している

共通スキーマを活用

L2の書き方にはそぐわないL1の文化的背景に沿った書き方を無自覚に踏襲している

L1の書き方が影響/N2の経験が少ない？

表3 文化的背景・読解方略と文章理解・要約文の関係

文化的背景の影響	小	論理解	共通スキーマ	→ 論文スキーマが繰り返しの練習により形成された可能性
		エッセイ理解	L2の学習経験	→ L2のインプットの際のJLPTの影響 ←中村（2020）
	大	エッセイ要約	L1の学習経験	→ 要約経験の不足によりL1の方略を踏襲
		論文要約		→ 読解方略の違い（四択と要約文作成）を認識しない指導 ←工藤（1993）

4 考察とまとめ

- 文章理解における読解方略は、読解初心者役に役立つ効率的な読み方として学習者に一律に指導される
 → 国によって指導法や重点的に指導される点異なる → L2で多く読んだ文章タイプ/指導法により、新たな読解方略が形成
 → L2で学んだ読解方略が文章の理解を阻害している可能性？ → L1の読解方略との関連付け・L2で読ませる文章の選択も重要
- 要約文は、L1での方法を取り入れている
 → N2での要約経験が少なく、要約文の目的が明確ではない？ → 要約の目的を示した練習のトレーニングが必要
 ▶▶ 教師は学習者ごとに異なる先行知識、とりわけ読解方略や文化的背景の影響を認識し、学習者に指導していくことが求められる課題＝サンプル数を増やし、この分析結果を検証していく必要がある。

参考文献

- 工藤嘉名子（1993）「日本語の読解における学習課題とストラテジーの関係に関する調査」『小出記念日本語教育研究会論文集』第2号, pp.81-91
 中村かおり（2020）「日本語学習者が持つ母語と日本語の形式スキーマに関する考察:中国人学習者とベトナム人学習者による物語の描写を一例に」『東アジア日本語教育・日本文化研究』23, pp.75-90
 中村かおり・向井留実子・近藤裕子（2019）「読解力が高い日本語学習者はエッセイの論理性をどのように理解するか」『日本語教育方法研究会誌』vol.26(1), pp.46-47
 中村かおり・近藤裕子・向井留実子（2020）「読解学習を論理性のある文章作成につなげるための一考察」『日本語教育方法研究会誌』vol.26(2), pp.8-9
 向井留実子・近藤裕子・中村かおり（2019）「論文とは異なる文章の読解から論文・レポートの書き方指導につなぐための方策をさぐる」2019年度日本語教育学会秋季大会交流ひろばポスター